

～ 1次選考通過作品 ～

愛称・ふりがな	愛称の意味・理由
<p>KiTAKAi さんぽ館 (きたかい さんぽかん)</p>	<p>明るい笑顔で接待してくれるカフェがあり、散歩しながら立ち寄れば多摩市の歴史が学べ、人と文化の交流、そして新しい発見で明日へとつながるセンターになったら良いと思います</p>
<p>北貝取交流センター (きたかいどりこうりゅうせんたー)</p>	<p>地名を入れた方が分かり易いからです</p>
<p>き ら り た (きらりた)</p>	<p>「き」らりと「た」まで「か」がやき「い」きる—この施設の以前の愛称「きたかい」を残しつつ、利用者が好きなことに打ち込んできらりと輝ける場、それによりに発展する文化が光を保ちながら未来へ受け継がれるような場になるよう、「"きらり"多」から「きらりた」と考えました。また、永山方面からでも豊ヶ丘方面からでも、坂を上った先の日当たりのよい場所に位置するので、愛称にも明るいイメージを持たせました</p>
<p>たま健幸ふれ愛センター (たまけんこうふれあいせんたー)</p>	<p>多摩市民の健幸づくりとふれ合いに満ちた交流の中心地という意味です</p>
<p>パトリダ北貝 (ぱとりだ きたかい)</p>	<p>多摩市の有名な建物と言ったら「パルテノン多摩」。パルテノン宮殿と言ったらギリシャ。ギリシャ語で「ふるさと」は「パトリダ」。と言う理由です</p>
<p>ふるさと文化・未来館 (ふるさとぶんか・みらいかん)</p>	<p>—歴史と資料、交流活動—(文化には歴史と資料室、未来には交流活動を意味しました)ふるさとの前に「多摩」を考えましたが、子供達がひらがなから入るとやさしさのある響きに親しさを感じるでしょう。そして市民は(あの学舎の卒業生その父母達は特に)懐かしさを感じるでしょう。旧北貝取小学校が改修され4月に開館した、多摩市民の活動の複合施設である事を知っているからです</p>
<p>ふれあい未来館 (ふれあいみらいかん)</p>	<p>一人でも多くの市民に来館してもらいたいのです</p>
<p>ペイナタル多摩 (ぺいなたるたま)</p>	<p>多摩市にはパルテノン多摩という施設があるので、それと対になる形でフランス語の「ふるさと」を意味するペイナタルを使用しました。新しさと伝統のある雰囲気兼ね備えた、これからの多摩市に相応しい名前だと思います</p>